



コード (分野)	13301 (5.自然・環境)
メニュー名	リサイクルに関する環境学習
校園名(学年)	大津市立逢坂小学校 第4学年A組
講師・支援者等	近畿環境保全株式会社
学 習 名	パッカー車見学
教 科 等	社会科
実 施 日	令和5年 6月 28日 (水)9:20~10:20

《授業の流れ》

テーマ「パッカー車を見学して、リサイクルを実感しよう。」

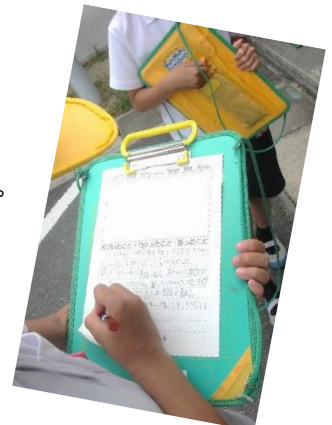
1 会社の事業説明を質問形式で知る。

- ① ごみ収集車は見たことある？ 「ある」「ない」
- ② 産業廃棄物って聞いたことある？ 「ある」…1名
- ③ ごみ収集車の別名は知っている？ 「パッカー車」
- ④ パッカー車の意味は分かる？ 「パッカーンと音が出るから」
「英語の意味」→パッキングする車！！

2 リサイクルクイズをする。(ホワイトボードに写真や図)

「何に変わるでしょう??」

- ① アルミ缶 → アルミ缶
- ② 空き瓶 → 瓶
- ③ ペットボトル → 服
→ ペットボトル (最近やっと着手) …コストの関係
- ④ 発泡スチロール → プラスチック類の文房具
- ⑤ 生ごみ → 肥料、飼料
- ⑥ 菓子等の箱 → 段ボール
- ⑦ スチール缶 → 自動車のボディ、レール (線路)
- ⑧ 他は?? …牛乳パック、トレイ、ペットボトルキャップ



3 3グループローテーション体験学習

① パッカー車見学・積み込み体験・運転席体験

ごみ収集所の袋に入れられたごみを、パッカー車後ろに放り込み、ボタン操作でパッキングしていく体験をする。

運転席に座り、装置の工夫を目視する。

② 分別作業体験競争（各班で仕分けの正確さとタイムを競う）

ペットボトル、発泡スチロール、空き缶

* 空き缶の、アルミは磁石につかないがスチールは磁石につくので、磁石を使って振るい分けができる。

③ 対象物によるリサイクル処理の違いを知る学習

空き缶→プレス（固まり）…アルミとスチール別

ペットボトル→プレス（一塊500kg）

発泡スチロール→溶かして硬い塊に（実際に持って体感）



4 今日のまとめを聞く。

見て学んだりサイクルの工夫を私たちの生活の中で生かしていこう。

<感想等>

児童

- ・ 空き缶などが回収された後、どうなるかを初めて知った。
- ・ じしゃくを使って、空き缶をさらに分別していると知り、驚いた。
- ・ パッカー車には、安全のためや、ごみ処理場でごみを出すためのたくさんの工夫が詰まっていることがわかった。
- ・ ゴミを運んだり分けたりするのが楽しかったけど、毎日だったらしんどそうだった。



学校

- ・ 実際に、車のスイッチを操作したり、運転席に乗らせてもらったりと、来てもらわなければならない活動がいっぱいで、子どもたちにとっても素晴らしい体験をさせることができ、有難かった。ホワイトボードを使った説明も分かりやすかった。



支援者・講師

- ・近畿環境保全株式会社では、地域に根ざした廃棄物処理業者である当社ならではの体験型学習を10年以上続けてまいりました。

子どもたちがゴミや環境に興味をもつきっかけとして、さらには理解が深まるような学習の場を提供したいと考えています。身近なところから出てくるゴミをもとに、リサイクルについて知っていただくことで、ゴミを捨てた後のその先まで興味関心を広げ、これからの社会を担える人に育ててほしい思いを持って実施させていただきました。

